目黒区文化ホール及び目黒区美術館
指定管理者運営評価結果報告書
（令和４年度分）

令和５年６月

目黒区文化ホール及び目黒区美術館

指定管理者運営評価委員会

Ⅰ　評価基準及び評価方法について

１　運営評価の目的

指定管理者運営評価は、指定管理者が行った目黒区文化ホール及び目黒区美術館の管理運営の実施状況について、指定管理の協定書に沿って適切に実施されたか、適切な住民サービスが提供されたかを毎年継続的に評価し、その結果に基づき区と指定管理者が相互に連携し、業務の改善を図り、より一層の「住民サービスの向上」と「経費の効率的な活用」を推進することを目的とする。

２　運営評価の方針

運営評価にあたっては、公平・公正な評価を実施するため、指定管理業務全般にわたる評価項目及び評価基準によるものとする。

また、評価を数値化〈点数評価〉するとともに、その結果が運営評価後の業務に生かされるよう所見〈所見評価〉を加える。

３　運営評価の単位

指定管理者に対する運営評価は、目黒区文化ホール（めぐろパーシモンホール、中目黒ＧＴプラザホール）と目黒区美術館それぞれについて行う。

４　評価項目及び評価基準

評価項目及び評価基準は、目黒区文化ホール、目黒区美術館ごとに定め、具体的内容は次表のとおりとする。

評価項目は、大きく次の４項目とし、さらに１３の中項目と２２の評価基準を定めた。

（１）サービスの実施に関する事項
（２）地域の芸術文化振興に関する事項
（３）経営能力等に関する事項
（４）管理運営経費の効率化に関する事項

【目黒区文化ホール】

Ⅰ　サービスの実施に関する事項

1．管理運営の基本方針	配点
（1）基本方針は目黒区文化ホールの設置目的を最大限に発揮する内容となっている。	5
（2）基本方針に沿って、質の高い事業が行われており、十分に成果をあげている。	5
2．施設利用の利便性向上、平等な利用への取組	
（1）ホールは、利用しやすく公平な利用の機会を確保している。	5
（2）利用者のトラブル・苦情は適切に処理されている。	5
（3）高齢者、障がい者等への対応が考慮されている。	5
3．施設利用者・来館者の満足度向上に対する取組	
（1）施設利用者・来館者の満足度向上に積極的に取り組み、高い評価を得ている。	5
（2）区民・利用者の声を反映できている。	5
4．施設・事業の周知活動	
（1）施設・事業の周知が適切に行われている。	5

Ⅱ　地域の芸術文化振興に関する事項

1．区民の芸術活動の支援	配点
（1）区民の芸術文化活動支援を積極的に行っている。	5
2．教育活動及び区民が芸術文化に触れる機会の創出	
（1）事業を通じて、子どもたちや区民が芸術文化に触れる機会を創出している。	5
3．指定管理事業の公演等実施成果	
（1）指定公演事業として、創造的で文化的な公演を実施している。	5

Ⅲ　経営能力等に関する事項

1．良好な施設・設備の維持への取組	配点
（1）保守管理（設備・備品）についての基本方針及び具体案がある。	5
（2）保守管理（設備・備品）が適切に行われている。	5
2．危機管理・安全対策への取組	
（1）人的な安全管理が確保されている。	5
（2）施設の安全管理が確保されている。	5
（3）危機管理体制が確立されている。	5
3．人材管理及び組織体制への取組	
（1）組織運営が適切に行われている。	5
（2）業務を行う上で必要な人員配置・人材育成に取り組んでいる。	5
4．情報管理の取組	
（1）個人情報保護、情報公開等、情報管理が適切に行われている。	5

Ⅳ　管理運営経費の効率化に関する事項

1．管理運営の効率化	配点
（1）事業収支面の努力が図られている。	5
（2）効率的な組織運営に向けた取組が行われている。	5
2．利用料金制の活用	
（1）利用料金制度のメリットを効果的に活用している。	5
合計	110

【目黒区美術館】

Ⅰ　サービスの実施に関する事項

1．管理運営の基本方針	配点
（1）基本方針は目黒区美術館の設置目的を最大限に発揮する内容となっている。	5
（2）基本方針に沿って、質の高い事業が行われており、十分に成果をあげている。	5
2．施設利用の利便性向上、平等な利用への取組	
（1）区民ギャラリーは、利用しやすく公平な利用の機会を確保している。	5
（2）利用者のトラブル・苦情は適切に処理されている。	5
（3）高齢者、障がい者等への対応が考慮されている。	5
3．施設利用者・来館者の満足度向上に対する取組	
（1）施設利用者・来館者の満足度向上に積極的に取り組み、高い評価を得ている。	5
（2）区民・利用者の声を反映できている。	5
4．施設・事業の周知活動	
（1）施設・事業の周知が適切に行われている。	5

Ⅱ　地域の芸術文化振興に関する事項

1．区民の芸術活動の支援	配点
（1）区民の芸術文化活動支援を積極的に行っている。	5
2．教育活動及び区民が芸術文化に触れる機会の創出	
（1）教育普及事業を円滑かつ効果的に実施している。	5
3．指定管理事業の公演等実施成果	
（1）指定展覧会事業を円滑かつ効果的に実施している。	5

Ⅲ　経営能力等に関する事項

1．良好な施設・設備の維持への取組	配点
（1）保守管理（設備・備品）についての基本方針及び具体案がある。	5
（2）保守管理（設備・備品）が適切に行われている。	5
2．危機管理・安全対策への取組	
（1）人的な安全管理が確保されている。	5
（2）施設の安全管理が確保されている。	5
（3）危機管理体制が確立されている。	5
3．人材管理及び組織体制への取組	
（1）組織運営が適切に行われている。	5
（2）業務を行う上で必要な人員配置・人材育成に取り組んでいる。	5
4．情報管理の取組	
（1）個人情報保護、情報公開等、情報管理が適切に行われている。	5

Ⅳ　管理運営経費の効率化に関する事項

1．管理運営の効率化	配点
（1）事業収支面の努力が図られている。	5
（2）効率的な組織運営に向けた取組が行われている。	5
2．利用料金制の活用	
（1）利用料金制度のメリットを効果的に活用している。	5
合計	110

５　評価方法

評価委員会において、指定管理者から提出された事業報告、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等を参考に、評価基準ごとに点数評価し、その総得点をもって総合評価を行う。

また、今回の評価結果が今後の施設運営の参考となり、より良いサービスの提供と適切な管理運営に活かせるよう、評価区分ごとに所見を加えるとともに、今後の課題や検討・改善事項等について付記する。

評価点数については次のとおりとする。

なお、各評価項目の点数については、評価された点数から平均値を割り出し、四捨五入した数値となっているため、必ずしも点数の合計と総合計が一致するものではない。

（１）評価基準ごとの点数評価

５＝十分水準を超えている
４＝水準を超えている
３＝水準に達している
２＝水準に達していない
１＝かなり水準を下回っている

（２）総得点に対する総合評価

全ての項目が「３」であった場合の評価総得点である「６６点」を最低評価点数とする。それより低い評価総得点の場合は、不適切な運営管理の状態があると認められることから、抜本的な改善措置を講じる必要があるか、指定の継続が困難な状況であると評価する。

総得点	総合評価
100 点以上	特に優れた管理運営ができている
80 点以上 100 点未満	優れた管理運営ができている
66 点以上 80 点未満	適正な管理運営ができている
66 点未満	不適切な管理運営の状態があり、抜本的な改善措置を講じる必要があるか、指定の継続が困難な状況である

（満点：110 点）

Ⅱ　令和４年度管理運営業務の評価結果

「Ⅰ　評価基準及び評価方法について」に基づき、次のとおり評価した。

１　総合評価

目黒区文化ホール及び目黒区美術館の運営管理については、平成１８年度から指定管理者制度を導入してきている。

現在は、令和元年度から令和５年度までの５年間を指定管理期間として、公益財団法人目黒区芸術文化振興財団が指定管理者として選定されているところである。

また、平成２１年度からは、目黒区文化ホール、目黒区美術館とも利用料金制度を導入している。

当委員会は、現在の指定管理期間の４年目である令和４年度における指定管理者の運営管理状況について、運営評価を実施した。

評価項目は大きく「サービスの実施に関する事項」、「地域の芸術文化振興に関する事項」、「経営能力等に関する事項」、「管理運営経費の効率化に関する事項」の４項目とした。さらに中項目と評価基準に分け、項目ごとに評価の視点を定めて評価作業を進めた。

令和４年度の管理運営の評価結果は、下表のとおりである。

新型コロナウイルス感染所への対策を考慮した、利用者等への対応やオンラインの積極的な活用など今後につながる試みも含め、総合的に評価した。

以上、更なる管理運営の向上に向けて、今後の課題や検討事項について意見を付したので、適切な対応等を図ることを指定管理者に求める。

対象施設	指定管理者名	総得点 （110 点満点）	４年度総合評価
目黒区文化ホール	公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団	９７．５点	優れた管理運営ができている
目黒区美術館		９４．５点	優れた管理運営ができている

２　目黒区文化ホールの評価詳細

（１）総合評価結果

総得点（110 点満点）	総合評価
９７．５点	優れた管理運営ができている

（２）区分別評価

Ⅰ サービスの実施に関する事項	・電子チケットの導入、１時間早い貸出の増加、ビュッフェや冷水機の再開など利便向上策に前向きに取り組んでいることは評価したい。・非接触型の電子チケットやキャッシュレス決済の導入等、時流を踏まえて、来場者のニーズにあったサービスを提供している点は評価できる。 ・アンケートでは、スタッフに対する評価が高く、利用者とのコミュニケーションが適切に行われている。 ・コロナ禍からの戻りを受けながら、20 周年記念事業を中心に積極的

	に実施し、利用者に満足のいくサービスができたものと高く評価したい。また、映像配信も飛躍的に伸び、新しい顧客も開拓できたのではないかと思われる。非接触型電子チケットの導入や柔軟な利用受付対応等施設利用の利便性も上がっている。広報にも随所に努力がみられるが、さらに伸びしろがあるように思われ、今後に期待したい。 ・アンケートの回収率にもよるが、文化ホールの来場者における目黒区民の利用率が低い状況が伺える。また、「どのように知ったか」においては、HP、SNS、メルマガといったホール側からの発信より、インターネットが多く、チケットぴあ等のウェブサイトと考えられるが、LINE を活用するなどプッシュ型のツールを利用するなどの工夫が必要ではないか。
Ⅱ 地域の芸術文化振興に関する事項	・コロナ禍が続くなかにおいても各種感染予防等の対策を講じ、かつ様々な工夫をしながら催行したことは高く評価したい。委員会席上では周年事業における動画に関しても課題の指摘もあったが、まずは「実施した（行った」という点を評価したい。 ・アウトリーチプログラム事業の拡充、開館 20 周年事業の取り組みなど評価したい。（同意見ほか１名） ・周年記念の自主企画の多彩な事業に加えて、貸館事業も数多く展開でき、多くの参加者、利用者があったことは高く評価できる。ただ、事業によっては入場率が必ずしも高くないことや、一般に区民の参加率が低いことはこれまでも指摘されてきたことである。ホールの立地から広域の利用があることは必然であろうが、優れた公演や事業にできる限り区民参加が増えるような工夫を期待したい。 ・パーシモンホール 20 周年事業は、演目に偏りがあるように感じるものの、一定の来場者数を確保し、評価できる。20 周年記念グッズは、もう少し年度の早いタイミングで制作してほしかった。目黒区文化祭は、受託事業ではあるが、入場率アップの工夫をしてほしい。
Ⅲ 経営能力等に関する事項	・人材育成に関しては、文化施設の運営や芸術に関する専門領域だけでなく、ロジカルシンキングやマーケティングなど、一般的なビジネスパーソンが学ぶべき領域を取り入れてはどうか。 ・多くの研修事業に参加するなど人材養成に積極的に取り組むとともに、少ない人員で丁寧な組織運営がなされていると評価する。 ・情報セキュリティ研修の記載がない。ICT を扱う上では、必須の研修である。
Ⅳ 管理運営経費の効率化に関する事項	・他団体からの助成金、協賛金を得て事業に活かしており、今後も継続してもらいたい。 ・各施設の利用率も概ね高水準で、利用料金制度のメリットは活用できている。 ・約 4000 万円の指定管理料と約 1 億 5 千万円の利用料金で多彩な事業を展開し、クオリティの高いサービスを提供していることは高く評価できる。開館 20 周年を経て、区民のホール認知度や訪問度などにも配慮しながら、質の高い文化芸術サービスをできる限り区民が享受できるような努力を望みたい。この観点から、本年助成金を獲得して拡充・実施した小学校全校へのアウトリーチ事業等は、ホール

	認知や訪問につながる重要な事業と思われる。ぜひ継続、拡充、拡大してほしい。

（３）今後の課題や検討・改善事項等

・いずれの項目においても標準を上回っており、コロナ禍が続くなかにおいても周年記念行事などに際し工夫しながら運営をされてきたものと思料する。今後も区民のニーズに応え、また人々が豊かで潤いのある生活を送るうえで大切な「芸術・文化」の灯を絶やさぬよう、様々な企画ならびに運営を図り広く PR し活性化させていくことを期待したい。
・コロナ禍が収束に向かう中、この２年間で得た事業運営のノウハウを活かし、区民が芸術文化に親しむ拠点となるよう運営をお願いしたい。
・広報活動では、様々な団体・機関と協力しており、パーシモンホールがこの 20 年間に作ってきた財産が可視化されているように感じる。年々SNS の活用も進んでおり、パーシモンホールがいかに支持されているかがわかりやすくなってきている。
・令和４年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場が制限されたり、実施事業が中止をしたりし、業務が思うようにできず、昨年ほどではないにせよ苦慮されたと感じる。今後も、現状維持で頑張っていただきたい。
・コロナ禍も落ち着き、劇場運営もノーマルに戻りつつある中、開館 20 周年記念の年として、積極的に各種事業を実施、利用の利便性を高めるための工夫も高く評価できる。ホールの規模や立地から区外の訪問者が多くなることも理解できるが、質の高い活動にできるだけ区民が参加できるようにすることが引き続き重要であろうと考える。周年事業を通じて区民の参加が増えていることも確認できており、今後に期待したい。また、これまでの実績の上にアウトリーチを中心に外部資金の獲得もできており、25 周年に向けた積み立てを行う等、計画的な予算執行、運営が行われていると思われる。（人員増やトイレの洋式化等、区側の対応にも期待したい。）
・質の高い芸術文化活動を展開していると評価できる。しかし、YouTube 配信のチャンネル登録者数も年数の割に多いとは言えず、動画の内容も偏りを感じる。これは大変もったいないと感じる。20 代～40 代の目黒区民をターゲットとするような戦略的な事業展開を図ってほしい。

評価項目等		配点	評価
Ⅰ　サービスの実施に関する事項	1．管理運営の基本方針		
	（1）基本方針は目黒区文化ホールの設置目的を最大限に発揮する内容となっている。	5	4.8
	（2）基本方針に沿って、質の高い事業が行われており、十分に成果をあげている。	5	4.2
	2．施設利用の利便性向上、平等な利用への取組		
	（1）ホールは、利用しやすく公平な利用の機会を確保している。	5	4.8
	（2）利用者のトラブル・苦情は適切に処理されている。	5	4.3
	（3）高齢者、障がい者等への対応が考慮されている。	5	4.2
	3．施設利用者・来館者の満足度向上に対する取組		
	（1）施設利用者・来館者の満足度向上に積極的に取り組み、高い評価を得ている。	5	4.8
	（2）区民・利用者の声を反映できている。	5	4.3
	4．施設・事業の周知活動		
	（1）施設・事業の周知が適切に行われている。	5	4.3
Ⅱ　地域の芸術文化振興に関する事項	1．区民の芸術活動の支援		
	（1）区民の芸術文化活動支援を積極的に行っている。	5	4.5
	2．教育活動及び区民が芸術文化に触れる機会の創出		
	（1）事業を通じて、子どもたちや区民が芸術文化に触れる機会を創出している。	5	4.7
	3．指定管理事業の公演等実施成果		
	（1）指定公演事業として、創造的で文化的な公演を実施している。	5	4.5
Ⅲ　経営能力等に関する事項	1．良好な施設・設備の維持への取組		
	（1）保守管理（設備・備品）についての基本方針及び具体案がある。	5	4.3
	（2）保守管理（設備・備品）が適切に行われている。	5	4.2
	2．危機管理・安全対策への取組		
	（1）人的な安全管理が確保されている。	5	4.2
	（2）施設の安全管理が確保されている。	5	4.3
	（3）危機管理体制が確立されている。	5	4.5
	3．人材管理及び組織体制への取組		
	（1）組織運営が適切に行われている。	5	4.7
	（2）業務を行う上で必要な人員配置・人材育成に取り組んでいる。	5	4.3
	4．情報管理の取組		
	（1）個人情報保護、情報公開等、情報管理が適切に行われている。	5	4.5
Ⅳ　管理運営経費の効率化に関する事項	1．管理運営の効率化		
	（1）事業収支面の努力が図られている。	5	4.5
	（2）効率的な組織運営に向けたり取組が行われている。	5	4.2
	2．利用料金制の活用		
	（1）利用料金制度のメリットを効果的に活用している。	5	4.3
評価得点計		110	97.5

※各評価項目の点数については、評価された点数から平均値を割り出し、四捨五入した数値となっているため、必ずしも点数の合計と総合計が一致するものではありません。

３　目黒区美術館の評価詳細

（１）総合評価結果

総得点（110 点満点）	総合評価
９４．５点	優れた管理運営ができている

（２）区分別評価

Ⅰ サービスの実施 に関する事項	・広報活動として YouTube などＳＮＳを中心に積極的に発信されていることは評価でき、引き続き取り組んでもらいたい。 ・区民ギャラリーの受付方法について、区民の利便性を優先して改善されている点は評価できる。 ・開館 35 周年・評価の高いワークショップとされているが、SNS のフォロワーや YouTube のチャンネル登録者数が少ない。施設や企画展の PR 活動に課題があるのではないか。例えば区民まつりなど、区民センターに行われる行事日程に企画展を合わせ積極的にチラシ配布するなど戦略的な周知活動を行ってはどうか。
Ⅱ 地域の芸術文化 振興に関する事項	・区民ギャラリーについては概ね高評価を得ており、区民への芸術文化振興に寄与しているものも思料する。その他項目についても水準以上の取組を果たしている。 ・教育普及事業については、対面式のワークショップとオンラインイベントを並行して実施しており、コロナ以前より多くの機会を提供できている点は大変すばらしいと思う。 ・アンケート回答者の住まいについて、フジタ展以外では目黒区在住が 10%台と低いので、今後の目黒区民の来場者増加を期待する。 ・美術館の特性を生かした丁寧な企画事業は多くの入場者を満足させるものであった。コロナ禍で始まったオンラインイベントや SNS などの利用も評価できる。ただ、以前より指摘されてきていることであるが、展覧会への区民の参加が必ずしも高くない。美術館の企画が興味深いものであり、広域から観覧者が来訪することも大切なことであるが、質の高い事業への区民参加を増やす工夫も継続してほしい。本年初めて実施した区民への無料開放の展覧会は大変重要な一歩と思われる。今後もぜひ継続、拡充してもらいたい。
Ⅲ 経営能力等に 関する事項	・組織体制や情報管理については、いずれも極めて適切に執り行われている。なお、人材育成については、文化交流を発信していく本館の運営から照らして極めて重要な取組と思料するが、対面方式に限ることなく実施していることもあり、引き続き精力的に行っていただくことを期待する。 ・人材育成研修においては、事務系の研修や美術館の専門性を深める研修だけでなく、広報やマーケティング分野の研修がもっと増えると良いのではないか。 ・施設設備の老朽化の中、工夫された運営となっている。 ・ICT を活用する以上、情報セキュリティ研修は、全員が受講するようお願いしたい。

Ⅳ 管理運営経費の効率化に関する事項	・事業収支面においてはコロナ禍のピークも過ぎたところで以前の実績に比肩する程まで回復基調にあり、今後はあらためて利用者のニーズ掘り起こし等に努め高利用率の維持を目指していただきたい。アフターコロナにおける事業展開は「攻め」の姿勢になると思われるため、組織運営の工夫をしながら必要なポジションに人材を投入し、引き続き効率的な組織運営を図って頂きたい。 ・過去の図録の販売を行うなど、積極的な収入確保策が実施されている。 ・利用も 95%を超え、コロナ禍前にほぼ戻った。また、オリジナルグッズの販売等、経営上の工夫もなされている。 ・ミュージアムショップは、電子マネーも使え、デザインもユニークで大変高く評価している。引き続き目黒区美術館らしいデザインの商品を期待している。

（３）今後の課題や検討・改善事項等

・昨年度と比較し、コロナ感染症に係る影響は微小にとどまっており、各イベント等も予定通り行われ、併せて様々な創意工夫を図りながら運営されてきたことが見て取れる。そのような姿勢を評価しつつ、引き続き新たな発想や視点、また時節に応じた柔軟な対応等により、より一層本区の文化・芸術の振興に寄与して頂きたい。 ・区民ギャラリーの認知度向上に向け努力されていることを評価するとともに、今後も地域文化の振興という点から更に努力してもらいたい。 ・デジタル、アナログともに費用を抑えながら有料広告を出し、多くの方への認知に結びついたと感じる。 ・令和４年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場が制限されたり、実施事業が中止をしたりし、業務が思うようにできず、昨年ほどではないにせよ苦慮されたと感じる。今後も、現状維持で頑張っていただきたい。 ・開館 35 周年という節目の年で、区民に無料開放した展覧会も開催するなど、随所に工夫の見られる活動を展開したことは高く評価できる。今後は、施設の老朽化に伴う新たな動きも勘案し、区民にとって魅力的な美術館を目指した一層の努力を期待したい。また、広報についてもメディアのターゲット、コストに比べたメリットなど、より詳細な検証も必要になるのではないかと思われる。コストのかかる新聞広告がアピールする人々と安価な SNS で情報が届けられる人々は相当異なることから、効果的なチャネルを費用対効果も勘案しながら選択する必要があるだろう（広報の検証について同意見ほか１名）。 ・美術館はこれまでもめぐろの文化縁を形成・発展させる核となっている。展覧会・教育普及事業・ワークショップ等の事業に加え、観光や国内外のと交流など、さらなる芸術文化を普及・発展させ、区民生活に浸透させていただきたい。多くの区民が通う目黒区の芸術文化の象徴となることを期待する。

評価項目等		配点	評価
Ⅰ　サービスの実施に関する事項	1．管理運営の基本方針		
	（1）基本方針は目黒区美術館の設置目的を最大限に発揮する内容となっている。	5	4.7
	（2）基本方針に沿って、質の高い事業が行われており、十分に成果をあげている。	5	4.3
	2．施設利用の利便性向上、平等な利用への取組		
	（1）区民ギャラリーは、利用しやすく公平な利用の機会を確保している。	5	4.3
	（2）利用者のトラブル・苦情は適切に処理されている。	5	4.5
	（3）高齢者、障がい者等への対応が考慮されている。	5	4.2
	3．施設利用者・来館者の満足度向上に対する取組		
	（1）施設利用者・来館者の満足度向上に積極的に取り組み、高い評価を得ている。	5	4.3
	（2）区民・利用者の声を反映できている。	5	4.2
	4．施設・事業の周知活動		
	（1）施設・事業の周知が適切に行われている。	5	4.2
Ⅱ　地域の芸術文化振興に関する事項	1．区民の芸術活動の支援		
	（1）区民の芸術文化活動支援を積極的に行っている。	5	4.2
	2．教育活動及び区民が芸術文化に触れる機会の創出		
	（1）教育普及事業を円滑かつ効果的に実施している。	5	4.7
	3．指定管理事業の公演等実施の成果		
	（1）指定展覧会事業を円滑かつ効果的に実施している。	5	4.3
Ⅲ　経営能力等に関する事項	1．良好な施設・設備維持への取組		
	（1）保守管理（設備・備品）についての基本方針及び具体案がある。	5	4.2
	（2）保守管理（設備・備品）が適切に行われている。	5	4.0
	2．危機管理・安全対策への取組		
	（1）人的な安全管理が確保されている。	5	4.2
	（2）施設の安全管理が確保されている。	5	4.2
	（3）危機管理体制が確立されている。	5	4.5
	3．人材管理及び組織体制への取組		
	（1）組織運営が適切に行われている。	5	4.5
	（2）業務を行う上で必要な人員配置・人材育成に取り組んでいる。	5	4.0
	4．情報管理の取組		
	（1）個人情報保護、情報公開等、情報管理が適切に行われている。	5	4.3
Ⅳ　管理運営経費の効率化に関する事項	1．管理運営の効率化		
	（1）事業収支面の努力が図られている。	5	4.3
	（2）効率的な組織運営に向けた取組が行われている。	5	4.2
	2．利用料金制の活用		
	（1）利用料金制度のメリットを効果的に活用している。	5	4.3
評価得点計		110	94.5

※各評価項目の点数については、評価された点数から平均値を割り出し、四捨五入した数値となっているため、必ずしも点数の合計と総合計が一致するものではありません。

Ⅲ　目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価委員会

１　委員名簿

氏 名		所属	専門分野・経歴等
１　学識経験者			
委員長	垣内（かきうち）　恵美子（えみこ）	政策研究大学院 大学名誉教授	【専門分野】　文化政策 【経歴】 ・茨城県文化審議会委員長 ・川崎市文化芸術振興会議委員長 ・新宿区文化振興会議副会長 ・（一財）地域創造理事 ・国土審議会委員 ・（独）国立美術館運営委員 ・（独）国立新美術館評議員 ・各地の文化施設指定管理者選定委員等 ・目黒区芸術文化振興計画改定懇話会副座長 （平成 26 年 8 月から 28 年 3 月まで） ・目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者選定評価委員会委員長
副委員長	中川（なかがわ）　歩美（あゆみ）	一般社団法人 芸術と創造研究員	【経歴】 ・元アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）調査員 ・元港区文化芸術活動サポート事業評価員 ・元目黒区芸術文化振興計画改定懇話会委員 ・目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者選定評価委員会副委員長
２　区民			
田中（たなか）　保（たもつ）		田道住区住民会議代表	
北澤（きたざわ）　尚文（なおふみ）		八雲住区住民会議会長	
３　区職員			
勝島（かつしま）　壮介（そうすけ）		目黒区文化・スポーツ部長	
稲毛（いなげ）　照久（てるひさ）		目黒区文化・スポーツ部スポーツ振興課長	
４　アドバイザー			
本橋（もとはし）　浩（ひろし）			【資格】　税理士

２　評価経過

令和５年６月６日	**第１回　評価委員会開催** ・評価依頼 ・令和４年度事業報告書に対する質疑応答
６月２１日	**第２回　評価委員会開催** ・目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価の報告書（案）について審議、決定

以　　上